

SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

2018 All Japan Road Racing Championship Round 5
in TSUKUBA

2018
SUPERBIKE
EXPRESS
05



レース序盤、トップを走る#4岩戸亮介の背後に迫って来る#44関口太郎

J-GP2 QUALIFY to RACE1 OFFICIAL REPORT

岩戸亮介が関口太郎との一騎打ちを制し2連勝! レース2も岩戸と関口がレースをリードしそうだ!!

シリーズ第5戦筑波ラウンドに合わせて梅雨明けが発表され、レースウィーク初日から猛暑に見舞われた。ここ数年は、J-GP2クラスのみ2レース制で行われてきたが、今回は、初めてJ-GP3クラス、ST600クラス、そしてMFJ CUP JP250も土曜日に公式予選とレース1、日曜日にレース2というスケジュールでの開催となった。

快晴となった土曜日は、朝からぐんぐん気温が上がり8時半の時点で29度もあった。そして13時過ぎには、34.6度まで上がり、路面温度は、58.4度と厳しい暑さに見舞われた。

午前中に行われた公式予選では、前戦のSUGOラウンドで開眼した岩戸亮介が57秒435をマークトップ。セカンドタイムで争われるレース2もトップとなりダブルポールポジションを獲得。2番手の岩崎哲朗、3番手の関口太郎も同じレース1、レース2で同じポジションとなり、フロントロウの3人は同じメンバーが並ぶ結果となった。セカンドロウは、レース1が榎戸育寛、尾野弘樹、石塚健、レース2が尾野、榎戸、名越哲平が並ぶ。

ポールポジションスタートの岩戸がホールショットを

奪い、関口、岩崎、榎戸、尾野、作本輝介、石塚、名越と続いて行く。岩戸は、前戦SUGOラウンドと同じく、スタート直後からペースを上げて行きレースをリード。これに関口、岩崎、榎戸がついて行きたいところだったが、岩戸は、3周目に57秒713をマークし、2番手以下を引き離しにかかる。この岩戸のペースについて行けたのは、関口のみだった。関口は、5周目の、このレースのファステストラップとなる57秒711を出し、岩戸のテールに迫って行き、一騎打ちのトップ争いとなる。後方では、岩崎、榎戸、名越が3番手争いを、さらに後方では、尾野と作本が6番手争いを繰り広げていた。

ホームコースの筑波で、その速さを取り戻してきていた榎戸だったが9周目の第2ヘアピンで転倒。再スタートするものの、大きく遅れてしまう。

トップ争いが動いたのは、10周目だった。第2ヘアピンの進入で岩戸がはらむと、そのインに入った関口がトップに浮上する。関口は“ココが勝負”とペースを上げ、岩戸をやや引き離すが、岩戸も“逆に落ち着いて行こう”と気持ちを切り換えると、その差は、再び接近。関口が抑え切るか!? 岩戸が抜き返すか!? 勝負は、ファイナルラップに突入して行く。1コーナー、第

1ヘアピン、アジアコーナーと関口が先行するが、第2ヘアピンのブレーキングで岩戸が勝負に出る。関口のインを突くと岩戸がトップを奪い返し、そのままチェッカー! 岩戸が前戦SUGOから見事2連勝を飾った。関口は、悔しい2位となった。3位には、追いついて来た作本が入り、表彰台の一角を占めた。4位には、レース終盤にポジションを上げた尾野が入り、名越、岩崎と続いた。その後方では、5台による7位争いが繰り広げられ、三原壮紫が、このバトルを制している。以下、伊藤勇樹、ケミン・クボ、伊達悠太、徳留真紀と続いてチェッカーを受けた。

日曜日のレース2も、厳しい暑さの下での戦いになるだろう。レース1でトップ争いを繰り広げた岩戸と関口を中心に、作本、尾野、名越、岩崎が、どこまで迫れるかでレース展開が変わってくるはずだ。また、レース1では、悔しい転倒となった榎戸と石塚もスピードはあるだけに、どうアジャストできるかがカギとなる。シリーズ前半戦の締めくくりとなる今回の筑波ラウンド。タイトル争いを左右するレースとなる可能性も高い。20周を真っ先に走り抜けるライダーは、岩戸か? 関口か?? それとも…?



RIDERS INTERVIEW

レース1:優勝/レース2:ポールポジション
#4 岩戸 亮介
Team高武 RSC

『できれば前戦のSUGOラウンドと同じように逃げ切りたかったのですが、関口選手のアベレージが、すごくよかったので逃げ切るの難しかったと思います。自分のミスもあって順位を落としてしまったのですが、後ろに下がって冷静に考えることができ、最終ラップに抜き返すことができました。余裕はなかったですし、どこで行こうとは、決めていませんでしたが、最終ラップで仕掛けようと思っていました。レース2も同じような気温、レース展開になると思うので、気持ちをしめて、また勝てるようにチャレンジして行きたいです』

レース1:2位/レース2:予選3番手
#44 関口 太郎
SOX Team TARO PLUSONE

『トップを走っていましたが何もないまま終わるわけがないと思っていました。残り3周のバックストレートで後ろを見たら、しっかり岩戸選手がいるのを確認していました。勝負ポイントで転倒しそうな場面もあったので、そこで来られたら厳しいと思っていましたが…。悔しいですね。ただ、前回は、ぶつちぎられてしまったことを考えれば、今回はバトルができました。このまま勝たれると、去年の水野選手みたいに連勝されてしまうかもしれないので、レース2で止めたいですね。鈴鹿8耐よりも暑かったと思いますが、そんなコンディションでもブリヂストンタイヤはしっかり機能してくれました。集中力を切らさずに連勝を止められるように頑張ります』

レース1:3位/レース2:予選8番手
#16 作本 輝介
Team高武 RSC

『予選グリッドがよくなかったので、レース序盤で、どこまで順位を上げて行けるかが勝負だと思っていましたが、思うようにパスできませんでした。それでも何とか3位表彰台に上がることができたので、ホッとした気持ちと悔しい気持ちがありますね。レース2もグリッドがよくないので、今度こそ早い段階で前に追いついて勝負して行きたいですね』

決勝Race1 正式結果表

QUALIFY to RACE 1
REPORT, INTERVIEW & RESULT

●6月30日(土) (20周)
天候:晴 コース:ドライ

Pos No.	Name	Team	Machine	Laps	RaceTime	Delay
1	4 岩戸 亮介	Team高武 RSC	MD600	20	19'28.049	57.713
2	44 関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	20	19'28.270	0.221
3	16 作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	20	19'34.852	6.803
4	392 尾野 弘樹	ミクニ テリーアンドカー	GSX-R600	20	19'37.649	9.600
5	634 名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6-q	20	19'37.844	9.795
6	70 岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	20	19'38.272	10.223
7	71 三原 社紫	TONE RT SYNCEDGE4413	HP6	20	19'46.044	17.995
8	25 伊藤 勇樹	伊藤レーシング	YZF-R6	20	19'47.020	18.971
9	10 KUBO KEMINTH	伊藤レーシング	YZF-R6	20	19'47.225	19.176
10	64 伊達 悠太	KIMA Racing	HP6	20	19'47.508	19.459
11	36 徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED-UP	20	19'47.589	19.540
12	090 中村 修一郎	au.テレル MotoUP RT	KALEX	20	19'57.811	29.762
13	29 和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	20	19'58.736	30.687
14	12 大木 崇行	Kohara Racing Team	HP6	20	20'01.254	33.205
15	30 阿部 恵斗	Webike チームノリックヤマハ	YN6	20	20'03.411	35.362
16	31 豊島 怜	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	20	20'05.602	37.553
17	34 榎戸 育寛	Kohara Racing Team	KALEX	19	19'32.638	1Lap
***** 以上チェッカー *****						
***** 以上完走 (15Laps) *****						
32	井手 翔太	HITMAN RCKOSHIEN YAMAHA	YZF-R6	11	11'05.218	9Laps
7	石塚 健	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	7	6'55.733	13Laps

Fastest Lap

57.711 (5 / 20) 129.126 km/h #44 関口 太郎 / SOX Team TARO PLUSONE

Start Time :13:45'00 Finish Time :14:04'28.049

Entry :19 Start :19 Finish :17



成田彬人(INT)、小椋華恋(NAT)が優勝!



Presented by
DUNLOP
http://jp250.superbike.jp/



JP250選手権第4戦の決勝レースは、好天の元、土曜日最初のレースとなった。スタート直後の転倒劇で仕切り直し、周回数も変わらず再レースとなった。レースは予選4番手の成田彬人、ポールポジションの笠井悠太、予選5番手の砂泊孝太をトップ集団として激しく展開。最終的に成田が優勝(国際)、トップ集団に追いついた中から小椋華恋が国内の優勝を果たした。

表彰式(国際)



決勝RACE1正式結果(12周/上位15位)

●6月30日(土) 天候/予選・決勝 晴れドライ 出走29台

Pos No	Cls	Rider	Team	RaceTime
1	92 I 1	成田 彬人	Team HIRO	13'22.471
2	23 I 2	砂泊 孝太	TEAM idea	13'23.007
3	20 I 3	笠井 悠太	TEAM TEC-2	13'24.138
4	35 N 1	小椋 華恋	PROPOWER Asia DOGFIGHTR-YAMAHA	13'24.429
5	40 N 2	西村 碩	TEAM TEC-2	13'24.601
6	5 N 3	家根谷 大晟	キジマKISSレーシングチーム	13'24.691
7	39 I 4	村瀬 健琉	ミクニテリー&カー	13'24.789
8	70 N 4	高橋 直輝	ライダーズサロン横浜	13'34.961
9	27 I 5	石井 千優	TONE RT 千葉北谷バイクコース+H-PLAN	13'35.879
10	1 I 6	中沢 寿寛	i-FACTORY&Mガレージ	13'36.070
11	9 I 7	森 俊也	Webike TRICK STAR Racing	13'36.951
12	56 N 5	櫻井 芽依	キジマKISSレーシングチーム	13'37.055
13	31 N 6	横山 尚大	ガレージ L8 RT & KT.plus	13'39.054
14	53 N 7	武田 誠	Team KYOEI	13'41.843
15	71 I 8	赤間 清	Mistresa RT HARC-PRO.	13'44.494



長尾健吾が初ポールトゥウィン!

ST600 Supported by BRIDGESTONE



ST600クラスの決勝レースは、ポールポジションスタートの長尾健吾がレース中一度もトップを譲ることなくレースをリードしてポールトゥウィンを飾った。2番手にいた小山知良は序盤から最終周までずっと長尾を追っていたが、レース中盤から終盤にかけてはじわじわと迫りコマ2秒差まで詰めたものの、そこでチェッカー。2位表彰台を獲得した。

3番手争いは、序盤に上和田拓海が岡本裕生とバトルを展開していたが、岡本が3位に上がるとそのままのポジションを走り切ってチェッカーを受けた。その後方では國峰琢磨、奥田教介、亀井雄大らが続いていたが、奥田が12周目に入ったところで転倒してしまう。國峰と亀井は最終ラップに順位を入

れ替えるバトルを見せるが、國峰が逃げ切った。結果、4位に上和田が単独で入り、國峰、亀井の順でゴールした。



QUALIFY to RACE 1 REPORT & RESULT

決勝Race1 正式結果表 ●6月30日(土) (20周)
天候:晴 コース:ドライ

Pos No	Rider	Team	RaceTime
1	16 長尾 健吾	善光会TEAMけんけん+BEE	19'53.725
2	230 小山 知良	日本郵便 HondaDream	19'53.991
3	51 岡本 裕生	51ガレージチームイワキ	19'56.671
4	40 上和田 拓海	TEAM PLUSONE	20'05.261
5	55 國峰 琢磨	日本郵便 HondaDream	20'07.943
6	11 亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	20'08.120
7	18 杉山 優輝	MOTOBUM HONDA	20'14.015
8	97 佐野 優人	BATTLEFACTORY	20'15.489
9	8 名越 公助	GBS YAMAHA マツエゼン忠男	20'15.599
10	9 南本 宗一郎	AKENOSPEED・YAMAHA	20'15.926
11	98 佐野 勝人	TEAMVITALSPIRIT	20'18.954
12	17 行村 和樹	TOHO Racing Club	20'19.114
13	41 梅田 虎太郎	MOTOBUM HONDA REVES	20'23.553
14	090 中村 龍之介	au・テルル MotoUP RT	20'25.689
15	52 関野 海斗	51ガレージチームイワキ	20'30.385
16	26 西嶋 修	チーム阪神ライディングスクール	20'32.013
17	28 松川 泰宏	MOTO BUM HONDA +SAI	20'32.987
18	44 平野 ルナ	TEAM ENDLESS by SHANTI SSM	20'34.398
19	75 櫻山 茂界	地域活性プロジェクト・Team長野	20'34.511
20	38 小山 葵	AKENOSPEED・YAMAHA	20'35.953
21	23 中村 豊	MOTOBUM	20'38.626
22	35 長嶋 修一	大道建設モアルファ	20'41.742
23	32 矢田 栄一朗	GBSレーシングYAMAHA	20'42.375
24	14 仲村 優太	AKENOSPEED・YAMAHA	21'03.573
**** 以上チェッカー ****			
**** 以上完走 (15Laps) ****			
57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	11'01.034
66	豊 純一郎	ファイヤーガレージ+もたい設備工業	11'55.984
43	中山 耀介	TEAM SHOTA	9'08.088
420	亀井 駿	日本郵便 HondaDream	4'47.323
12	古山 颯太	伊藤レーシング	2'08.620
71	上原 大輝	Mistresa RT HARC-PRO.	

Fastest Lap

59.121 (7 / 20) #16 長尾 健吾 / 善光会TEAMけんけん+BEE

Start Time :14:40'20 Finish Time :15:00'13.725

13年振りのレースとは思えない走りを見せた坂田和人

今回の筑波ラウンドの最大の話ともいえるのが、J-GP3クラスにエントリーした坂田和人だ。一線を退いてから、後進の育成に力を入れており、実際にバイクに乗る機会も多いとはいえ、レースともなれば話は別だろう。後進にレースに臨む姿を見せ、納得行く状態でなければ決勝は走らないと言っていたが、土曜日に開催されたレース1のグリッドには、坂田の姿があった。自分自身の現状をこと細かく分析し、予想通りの順位だったと言うが、その辺も全盛期と何ら変わ

っていないのが、またすごい。レースでは、現在ポイントリーダーの岡谷雄太など若手ライダーとバトルを繰り広げ10位でゴール。マシンを降りると、たくさんの関係者やお客さんに囲まれ、その人気振りを見せつけていた。何より、その走っている姿を見せてくれたこと自体が感動に値する。2度、世界チャンピオンを獲得した51歳の坂田の走りを、ぜひ、その目に焼き付けて欲しい…。って、レース2も走ってくれるはずですが、こればかりは、本人のみぞ知るということだ。



J-GP3 埜口遥希が全日本デビューウインを飾る!



優勝した埜口遥希と中野真矢監督

J-GP3クラスの決勝レース1は、ポールポジションの古市右京がホールショットからリードして行く展開で始まった。しかしすぐ後ろに埜口遥希と小室旭、中島元気が続く。埜口はオープニングラップから積極的に仕掛け、第2ヘアピンでトップを奪うと、その後のレースを引っ張ってゆく。小室も次の周回には古

市をかわして埜口を追うが、レース中盤にはファステストラップを連発しながらリードを広げた埜口が、全日本デビューウインを飾った。2位に小室、3位には後方の集団バトルを制して抜け出した菅原陸が入った。終盤に激しいバトルを展開した中島が4位、岡崎静夏が惜しくも5位となった。

QUALIFY to RACE 1 REPORT & RESULT

決勝Race1 正式結果表 ●6月30日(土) (20周)
天候:晴 コース:ドライ

Pos No	Rider	Team	RaceTime
1	62 埜口 遥希	56RACING	20'31.442
2	71 小室 旭	Team P.MU 7C MIKUNI	20'33.035
3	93 菅原 陸	RG NIWA with オーテック・スズカ	20'35.839
4	4 中島 元気	TEAM SRS-Moto	20'38.731
5	15 岡崎 静夏	Kohara Racing Team	20'38.731
6	42 鈴木 光来	MORIWAKI CLUB	20'41.125
7	61 岡谷 雄太	MORIWAKI CLUB	20'43.974
8	13 長谷川 聖	CLUBY's&J	20'44.328
9	3 古市 右京	KTM・ASPIRATION RACING	20'45.071
10	99 坂田 和人	Mistresa・MuSASHi sc./TC	20'45.071
11	36 福岡 佑斗	TEAM PLUSONE	20'51.028
12	090 藤井 謙汰	au・テルル MotoUP RT	20'51.028
13	16 高杉 奈緒子	41Planning	20'52.449
14	29 鈴木 大空翔	BATTLEFACTORY	21'03.218
15	33 中山 愛理	TEAM SHOTA	21'03.497
16	17 野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	21'09.285
17	19 白石 玲菜	Dreamline Team REINA	21'09.495
18	45 鈴木 孝志	41Planning	21'10.865
19	41 宇井 陽一	41Planning	21'10.975
20	32 榎山 拓実	WJ-FACTORY	21'15.390
21	18 三好 菜摘	RG NIWA with DOG FISH Racing	21'16.367
22	34 村田 憲彦	CLUB Y's&J	21'24.606
23	20 畑中 要	FTR・タイヤナビ(株)遠藤住宅	21'27.115
**** 以上チェッカー ****			
**** 以上完走 (15Laps) ****			
6	安村 武志	犬の乳産園.jp/プリミティブR.T	3'10.374
30	太田 虎之進	WJ-FACTORY	3'12.631
12	山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	3'14.804
91	津田 裕行	teamREGOLITH+ BELL	スタート出来ず

Fastest Lap

1'00.999 (7 / 20) 122.166 km/h #62埜口 遥希 / 56RACING

Start Time :12:50'49 Finish Time :13:11'20.442

MFJ All Japan Road Race Championship Round 5 in TSUKUBA 30 June - 1 July 2018 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走19台
●決勝RACE2 スタート/13:45(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	Second Time
1	4	岩戸 亮介	Team高武 RSC	MD600	57.469
2	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	57.517
3	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	57.597
4	392	尾野 弘樹	ミクニ テリーアンドカリー	GSX-R600	57.942
5	34	榎戸 育寛	Kohara Racing Team	KALEX	57.948
6	634	名越 哲平	MUSASHI RT HARC-PRO.	HP6-q	57.954
7	71	三原 壮紫	TONE RT SYNCEDGE4413	HP6	58.076
8	16	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	58.112
9	7	石塚 健	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	58.172
10	10	KUBO KEMINTH	伊藤レーシング	YZF-R6	58.445
11	64	伊達 悠太	KIMA Racing	HP6	58.452
12	25	伊藤 勇樹	伊藤レーシング	YZF-R6	58.514
13	29	和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	58.541
14	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED-UP	58.598
15	12	大木 崇行	Kohara Racing Team	HP6	58.712
16	090	中村 修一郎	au.テルル MotoUP RT	KALEX	59.035
17	30	阿部 恵斗	Webike チームブリックヤマハ	YN6	59.401
18	31	豊島 怜	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	59.572
19	32	井手 翔太	HITMAN RCKOSHIEN YAMAHA	YZF-R6	1'00.164

***** 以上予選通過 *****

予選通過基準タイム (1'02.115 / 3台-108%)



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走35台
●決勝RACE2 スタート/14:40(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	Second Time
1	16	長尾 健吾	善光会TEAMIけんけん+BEE	YZF-R6	59.039
2	51	岡本 裕生	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	59.085
3	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	59.118
4	40	上和田 拓海	TEAM PLUSONE	YZF-R6	59.143
5	230	小山 知良	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	59.181
6	18	杉山 優輝	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	59.333
7	11	亀井 雄大	Honda Suzuki Racing Team	CBR600RR	59.397
8	55	國峰 啄磨	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	59.499
9	43	中山 輝介	TEAM SHOTA	YZF-R6	59.692
10	41	梅田 虎太郎	MOTOBUM HONDA REVES	CBR600RR	59.797
11	97	佐野 優人	BATTLEFACTORY	CBR600RR	59.852
12	9	南本 宗一郎	AKENOSPEED-YAMAHA	YZF-R6	59.895
13	28	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA +SAI	CBR600RR	59.996
14	17	行村 和樹	TOHO Racing Club	CBR600RR	1'00.004
15	98	佐野 勝人	TEAMVITALSPIRIT	CBR600RR	1'00.034
16	71	上原 大輝	Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	1'00.104
17	14	仲村 優佑	AKENOSPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'00.109
18	8	名越 公助	GBS YAMAHA マツエゼブン忠男	YZF-R6	1'00.121
19	090	中村 龍之介	au.テルル MotoUP RT	CBR600RR	1'00.222
20	12	古山 颯太	伊藤レーシング	YZF-R6	1'00.243
21	23	中村 豊	MOTOBUM	CBR600RR	1'00.249
22	52	関野 海斗	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	1'00.255
23	26	西嶋 修	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	1'00.312
24	75	櫻山 茂昇	地域活性プロジェクト・Team長野	CBR600RR	1'00.366
25	35	長嶋 修一	大道建設モトアルファ	YZF-R6	1'00.430
26	44	平野 ルナ	TEAM ENDLESS by SHANTI SSM	CBR600RR	1'00.518
27	32	矢田 栄一郎	GBSレーシングYAMAHA	YZF-R6	1'00.637
28	38	小山 葵	AKENOSPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'00.691
29	420	亀井 駿	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	1'00.702
30	66	豊 純一郎	ファイヤーガレージ+もたい設備工業	YZF-R6	1'00.742

***** 以上予選通過 *****

31	45	丹羽 貴大	OZT Racing with YSP名古屋西	YZF-R6	1'00.834
32	72	比企 徹	SPEED MASTER&RS-ITOH	ZX-6R	1'00.841
33	36	櫻井 賢一	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'00.874
34	39	佐藤 道夫	EGUKEN Garage	YZF-R6	1'01.080
35	34	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス&T-PRO inc.保険職人	ZX-6R	1'01.311

予選通過基準タイム (1'03.653 / 3台-108%)

親子バイク祭り

★親子でバイク体験! (※雨天中止)

開催日時・場所: 7月1日(日) 9時~16時 芝生広場

参加対象: 5歳~12歳のお子様

※試乗には保険料として500円がかかります。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走30台
●決勝RACE2 スタート/10:30(12周)

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	Second Time
1	11	Int	豊島 智博	ライダーズサロン横浜	CBR250RR	R1'05.783
2	40	Nat	西村 靖	TEAM TEC-2	CBR250RR	R1'05.810
3	39	Int	村瀬 健球	ミクニテリー&カリー	CBR250RR	R1'05.853
4	20	Int	笠井 悠太	TEAM TEC-2	CBR250RR	R1'05.875
5	92	Int	成田 彬人	Team HIRO	CBR250RR	R1'05.975
6	90	Nat	斎藤 魁	テルル/MotoUPレーシング	CBR250RR	R1'06.006
7	23	Int	砂泊 孝太	TEAM idea	CBR250RR	R1'06.010
8	5	Nat	家根谷 大蔵	キジマKISSレーシングチーム	YZF-R25	R1'06.084
9	1	Int	中沢 寿寛	i-FACTORY&Mガレージ	CBR250RR	R1'06.118
10	35	Nat	小椋 華恋	PROPOWER Asia DOGFIGHTR-YAMAHA	YZF-R25	R1'06.134
11	3	Nat	藤永 優	RPM-PROPOWER Asia&WJ	CBR250RR	R1'06.148
12	27	Int	石井 千優	TONE RT 千葉北ボケハイコース+PLAN	CBR250RR	R1'06.149
13	31	Nat	横山 尚太	ガレージ L8 RT & KT.plus	YZF-R25	R1'06.386
14	9	Int	森 俊也	Webike TRICK STAR Racing	Ninja250	1'06.553
15	56	Nat	櫻井 芽依	キジマKISSレーシングチーム	CBR250RR	1'06.648
16	26	Nat	田中 敬秀	7CエムズホームMissionMovers+CAC=NTR	CBR250RR	1'06.832
17	70	Nat	高橋 直輝	ライダーズサロン横浜	CBR250RR	1'06.890
18	4	Int	吉澤 隆	CLUB KENJIN & ベンタグラム&吉澤企画	CBR250RR	1'06.980
19	53	Nat	武田 誠	Team KYOEI	Ninja250	1'07.013
20	71	Int	赤間 清	Mistresa RT HARC-PRO.	CBR250RR	1'07.057
21	33	Nat	佐々木 将旭	GO&FUN Racing TeamKYOEI	Ninja250	1'07.171
22	82	Nat	平松 太勝	YSSLレーシング/アゲインRC/西港ベース	CBR250RR	1'07.533
23	64	Int	及川 玲	ベンタグラム/メルカート(株)	CBR250RR	1'07.691
24	8	Int	阿部 徹郎	PJ1-あべスピ・ヤマハ&ガレージL8	YZF-R25	1'07.856
25	6	Nat	鈴木 航	TECH34factory光進電機+aq	CBR250RR	1'07.898
26	14	Int	坪川 浩明	Garage130R with Marguerite	CBR250RR	1'07.980
27	12	Nat	清水 光則	クラブ1.2クシタニ川口	CBR300R	1'08.002
28	16	Nat	富塚 聖	プレストMRC&ベンタグラム	YZF-R25	1'08.880
29	93	Nat	遠藤 卓也	TEAM meister & Garage5	CBR250RR	1'09.465
30	7	Int	金山 和弘	Team橋本組	CBR250RR	1'09.540

***** 以上予選通過 *****

予選通過基準タイム (Int: 1'18.669 - 120% / Nat: 1'18.680 - 120%)

※略称: Int=国際, Nat=国内
"R" マークは、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは Int: 1'06.176 / Nat: 1'06.469



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走30台
●決勝RACE2 スタート/11:20(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	Second Time
1	3	古市 右京	KTM-ASPIRATION RACING	RC250R	1'00.480
2	71	小室 旭	Team P.MU 7C MIKUNI	NSF250R	1'00.815
3	62	笠口 遥希	56RACING	NSF250R	1'00.883
4	93	菅原 陸	RG NIWA with オーテック・スズカ	NSF250R	1'01.093
5	30	太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250R	1'01.117
6	6	安村 武志	犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T	PRCS3d	1'01.226
7	13	長谷川 聖	CLUBY'S&J	NSF250R	1'01.249
8	4	中島 元氣	TEAM RSC-Moto	NSF250R	1'01.360
9	42	鈴木 光栄	MORIWAKI CLUB	NSF250R	1'01.420
10	16	高杉 奈緒子	41Planning	NSF250	1'01.470
11	41	宇井 陽一	41Planning	TR-004	1'01.473
12	15	岡崎 静夏	Kohara Racing Team	NSF250R	1'01.494
13	99	坂田 和人	Mistresa・MuSASHI sc./TC	NSF250R	1'01.506
14	36	福嶋 佑斗	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'01.520
15	090	藤井 謙汰	au.テルル MotoUP RT	NSF250R	1'01.788
16	61	岡谷 雄太	MORIWAKI CLUB	NSF250R	1'01.841
17	56	松山 拓磨	56RACING	NSF250R	1'01.888
18	33	中山 愛理	TEAM SHOTA	NSF250R	1'01.988
19	17	野澤 秀典	ノザレーシングファミリー	NSF250R	1'02.070
20	59	五十嵐 翔希	ライダーズサロン横浜	NSF250R	1'02.094
21	12	山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'02.160
22	55	有田 光	Team RSC	NSF250R	1'02.222
23	18	三好 菜摘	RG NIWA with DOG FISH Racing	NSF250R	1'02.371
24	29	鈴木 大空翔	BATTLEFACTORY	NSF250R	1'02.406
25	19	白石 玲菜	Dreamline Team REINA	NSF250R	1'02.718
26	45	鈴木 孝志	41Planning	NSF250	1'02.769
27	91	津田 裕行	teamREGOLITH+ BELL	NSF250	1'02.941
28	32	楢山 拓実	WJ-FACTORY	NSF250R	1'03.058
29	34	村田 憲彦	CLUB Y's&J	NSF250R	1'03.095
30	20	畑中 要	FTR・タイヤナビ(株)遠藤住宅	NSF250R	1'03.835

***** 以上予選通過 *****

予選通過基準タイム (1'05.450 / 3台-108%)

INFORMATION

RIDE & DRIVE 全日本ロードレース& 全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30~22:00になりました。

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

《放映スケジュール》

12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30~22:00に放送!!



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境により配信となる場合もあります



YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

